

大会輸送と一般交通の共存のための主な手法

目標

- ・大会に係る輸送サービスの質の確保
- ・市民生活や経済活動の安定

手法

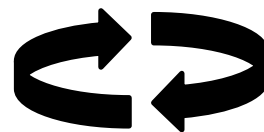
<本会議における検討・調整対象>

① 国民、企業等による交通行動の見直し

国民、企業等による交通行動の見直しによる、ベース交通量削減やオフピーク利用の推進等

(例)

- 移動を「やめる、へらす」取組
- ・会場周辺におけるイベントの抑制、夏季休暇取得促進、荷主への働き掛け、物流の大口化等
- 移動を「変える」取組
- ・ルートの変更、目的地の変更、交通手段の変更、時間の変更等



二つの手法をバランスさせ、大会に係る輸送サービスの質の確保と市民生活や経済活動の安定の両立を図る

② 交通システムの効率的運用

交通行動の見直しのみでは交通削減量が十分でない状況や、ピークの平準化が必要な状況等を想定し、交通システムの効率的運用を行う。

(例)

- ・交通容量の最大活用
- ・交通流の適正化
- ・大会関係車両の優先性確保